

温室効果ガス削減計画

1 事業の概要

(1) 事業所の名称

松本重工業株式会社 呉工場

(2) 事業所の所在地

広島県呉市広多賀谷1-6-1

(3) 業種

ボルト・ナット・リベット・小ねじ・木ねじ等製造業

(4) 事業所位置図 別紙のとおり

2 計画の期間

本計画の期間は、平成25年度を基準年度とし、平成26年度から平成28年度までの3年間とする。

3 計画の基本的な方向

1. 基本的な考え方

われわれは美しい地球環境を、将来の世代に伝えるために企業活動のあらゆる面で、地球環境の保全に配慮して行動し、社会の発展に貢献する。

2. 環境方針

- ・地球温暖化防止
- ・省エネルギーの推進
- ・資源枯渇の防止

4 温室効果ガスの排出状況（二酸化炭素換算）

【エネルギー起源二酸化炭素】

温室効果ガスの種類	温室効果ガス排出量 (t-CO ₂)		
	平成2年度	基準年度	直近年度
		平成25年度	平成26年度
二酸化炭素		10,098	10,007

【非エネルギー起源二酸化炭素】

温室効果ガスの種類	温室効果ガス排出量 (t-CO ₂)		
	平成2年度	基準年度	直近年度
		平成 年度	平成 年度
二酸化炭素			

【その他温室効果ガス】

温室効果ガスの種類	温室効果ガス排出量 (t-CO ₂)		
	平成2年度	基準年度	直近年度
		平成 年度	平成 年度
メタン			
一酸化二窒素			
HFC PFC SF6			

5 温室効果ガスの総排出量に関する数量的な目標

《排出量を削減目標とする場合》

単位：排出量 (t-CO₂)，削減率 (%)

温室効果ガスの種類	基準年度 (平成25年度)		削減目標		目標年度 (平成28年度)
	排出量 (a)	削減率 (b)	削減量 (c)	排出見込量 (d)	
エネルギー起源CO ₂					
非エネルギー起源CO ₂					0
メタン					0
一酸化二窒素					0
フロン類					0
温室効果ガス 実排出量総計					0
温室効果ガス みなし排出量		-			0
目標設定の考え方					

※ 削減率 (b) = (c) / (a) × 100 削減量 (c) = (a) - (d)

《原単位を削減目標とする場合》

原単位算定に用いた指標：生産数(単位10万本)

単位：排出量 (t-CO₂)，原単位量 (kg等)，削減率 (%)

温室効果ガスの種類	基準年度 (平成25年度)			原単位 削減目標	目標年度 (平成28年度)		
	排出量 (a)	原単位 数値 (b)	原単位 (c)	削減率 (d)	排出 見込量 (e)	原単位 見込数値 (f)	原単位 見込 (g)
エネルギー起源CO ₂	10,098	6,555	0.6394	2.0	9,896	6,555	0.6265
非エネルギー起源CO ₂							
メタン							
一酸化二窒素							
フロン類							
総排出量							
エネルギー消費原単位 (原油換算 k l)	-	-	4,191	2.0	-	-	4,107
目標設定の考え方							

※ 削減率 (d) = { (c) - (g) } / (c) × 100 原単位 (c) = エネルギー消費原単位 / (b)
原単位見込 (g) = エネルギー消費原単位 / (f)

6 温室効果ガスの排出の抑制に係る措置項目及び目標並びに具体的な取組み等

○ 温室効果ガスの排出抑制に向けた取組み

	項目	数値目標	具体的な取組み
1	電気使用量の低減	原単位 2%減	<ul style="list-style-type: none"> ・生産設備の稼働率向上 ・省エネ設備の導入 ・節電活動の推進
2	都市ガス使用料の低減	原単位 2%減	<ul style="list-style-type: none"> ・熱処理設備の稼働率向上 ・燃焼比率の適正維持
3	エコ自動車部品開発	1件	<ul style="list-style-type: none"> ・顧客ニーズの収集 ・研究・試験・試作・評価 ・顧客への売り込み、販売
4	エコ生産設備の設計・製作	25%省エネ設備の製作	<ul style="list-style-type: none"> ・エコ技術の情報収集 ・受注製品の加工方法検討 ・エコ設備

※ 原単位で作成する場合は、数値目標欄の記載例中、「使用量」を「原単位」に適宜読み替えること

○ 温室効果ガスみなし排出量の抑制に関する取組み（環境価値の活用等）

	種類	合計量
1		
2		
3		

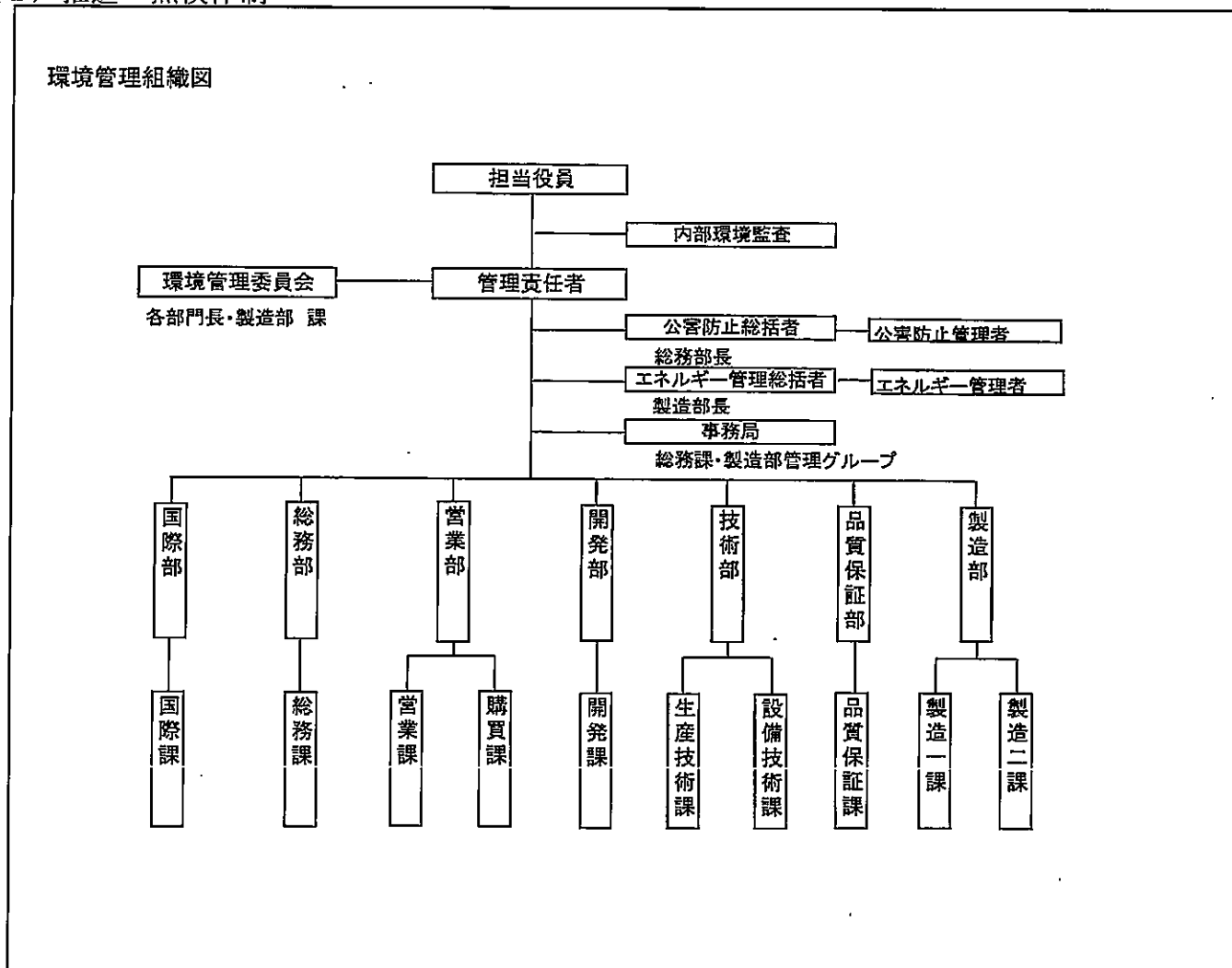
○ その他の取組み

	項目	数値目標	具体的な取組み
1	水道水使用料の低減	・原単位2%減	<ul style="list-style-type: none"> ・生活用水使用のルール化・指導 ・設備、施設の保守、改善 ・漏水の防止
2	産業廃棄物の低減	・原単位2%減	<ul style="list-style-type: none"> ・廃水処理方法の改善 ・表面処理装置廃水処理の改善
3	その他資源の低減	・合理化金額600万円/月	<ul style="list-style-type: none"> ・主材、補助材の低減 ・消耗工具の寿命延長活動

※ 環境に配慮した実践的な取組みなどをされていたら記入してください。

7 温室効果ガス削減計画の推進並びに実施状況の点検及び評価に関する方法等

(1) 推進・点検体制



(2) 実施状況の点検・評価

原単位削減のため、月に1度部門合同の報告会を行い、取り組み状況を把握する。
環境管理委員会では、定期的に評価・見直し等を行い継続的活動を行う。

(3) 計画書等の公表

事務所に備え付けて閲覧する。